

「語りもんそ」

Vol.32 平成26年8月31日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪
カフェ ミニコンサート

出演（公財）鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

（入場料は無料ですが、要ワンオーダー）

●7月20日（日）は、外山友美さん（トロンボーン）、植村富士子さん（ピアノ）のお二人で、“海の上のピアニスト”より愛を奏でて”“ラッサス トロンボーン”“アマポーラ”“愛の讃歌”“トルコ行進曲～Tao～”“春を呼ぶ声を聞く”より桜”“アナと雪の女王”レット・イット・ゴー”そして日本唱歌の“ふるさとの四季メドレー”では「故郷」「春の小川」「朧月夜」「鯉のぼり」「茶摘み」「夏は来ぬ」「われは海の子」「紅葉」「雪」などが演奏され、トロンボーンをメインにした曲の構成に音楽の魅力を楽しんだ日曜日の朝になりました。

お客様から「目の前で生の演奏を聴いて感動した」「音楽の魅力を再認識した」などの感想をいただきました。



外山友美さん（トロンボーン） 植村富士子さん（ピアノ）

●8月24日（日）は榎 真理香さん（ソプラノ）、石堂美沙紀さん（フルート）、山中礼美さん（ピアノ）の三人で、“虹の彼方に”“夢やぶれて”“踊りあかそう”“ふるさとの四季”では「夏は来ぬ」「われは海の子」「ふるさと」をメドレーで、ソプラノソロは“童神～天の子守歌～”“Ave Maria”、フルートソロは“チャルダッシュ”、ピアノソロは“3つの前奏曲”が演奏されました。



榎真理香さん（ソプラノ） 石堂美沙紀さん（フルート） 山中礼美さん（ピアノ）

○お客様に感想をお聞きしました

・鶴田有美さん 鹿児島市
「日曜日の朝 cafe のミニコンサートは、現実世界から離れてとても優雅な時間を過ごしました。間近で聴く演奏がすばらしく楽しかったです！！」



出演者と鶴田有美さん（左から二人目）

クリスマス祝祭管弦楽団公演 プレセミナー

6月14日（土） 6月28日（土）
宝山ホール3階 第6会議室

6月14日の講師はジェスク音楽文化振興会の堤正浩さんで、①クリスマス祝祭管弦楽団のメンバーとソリストについて、②これまでのベートーヴェン・チクルスの紹介、③ピアノ、ヴァイオリンとチェロのための三重協奏曲の聴きどころについて、④ベートーヴェンの時代背景と日本、世界の歴史について、6月28日の講師は川辺高等学校教諭の福田正樹さんで、①作曲者ベートーヴェンの生涯について、②ベートーヴェンの作品について、③交響曲第6番「田園」の聴きどころについての解説がありました。

2回目のプレセミナーでは、プロジェクターを用い、資料の楽譜にそってその聴きどころをヴァイオリンの演奏を組み入れながら分かり易く解説されました。



プレセミナー会場

○受講者に感想をお聞きしました

・梶原仁里さん（大学3年） 鹿児島市

「学生オケに入っています。セミナーは具体的にとても分かり易く説明されましたので、公演当日の聴きどころがよく理解できました。

機会があったらぜひ「田園」を演奏してみたいと思いました。またクリスマス祝祭管弦楽団の公演がさらに楽しみになりました」



梶原仁里（みさと）さん

第35回 霧島国際音楽祭 クリスマス祝祭管弦楽団公演

7月31日（木）宝山ホール

演奏は音楽祭講師・参加アーティストによる超豪華オーケストラで、今年は「オール・ベートーヴェン・プログラム」。曲目は“序曲「コリオラン」作品62” “ピアノ、ヴァイオリンとチェロのための三重協奏曲八長調作品56” “交響曲第6番「田園」へ長調作品68”。

鹿児島出身の指揮者、下野竜也さんとクリスマス祝祭管弦楽団は、ベートーヴェンの交響曲を毎年1曲ずつ披露しており、第6弾の今回は“交響曲第6番「田園」”が演奏され、田園情緒溢れるサウンドがホール内を温かく包みました。

○お客様に感想をお聞きしました

・大澤桃佳さん（高校2年 音楽科声楽専攻）
「曲が始まる前の緊張感、そして始まってからの繊細、かつ力強い音色にどんどん引き込まれました。自分の住んでいる身近なところで、これほど洗練された音楽を聴くことができるというのは本当に幸せで貴重なことだと改めて実感しました」

・内村愛瑛さん（高校1年 音楽科声楽専攻）
「アジアを代表する音楽祭の質の高い演奏に感動しました。今日の演奏会から学んだことを生かして、私らしく演奏できるように頑張りたいです」



内村愛瑛（まなえ）さん 大澤桃佳さん

されている役者さんのように、誰かを笑顔にできるような人になりたいです」



並河咲希さん

末吉キミさん

平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

宝山ホール探検隊！

8月8日（金） 宝山ホール

宝山プレゼンツ
ミュージカル「王様と私」
8月5日（火）宝山ホール



公演1か月前に全席完売したブロードウェイ・ミュージカルの傑作“王様と私”は、習慣や立場の違いから対立していた王様と英国人の家庭教師が、やがて心を通わせ絆を深めていく物語です。松平健・紫吹淳・はいだしょうこさんらによる演技・ダンスとともに心温まる多くの愛が届けられたように感じました。

○お客様に感想をお聞きしました

・並河咲希さん（中学3年） 鹿児島市
「私も祖母もお芝居を観るのが大好きで、よく色々な公演を観に行きます。今日ご出演の役者さんたちの美しい歌声はとても心に響きました。

私自身歌うことが大好きなのでとても勉強になりました。役を演じきって誰かに気持ちを届けることはとても難しいことです。私も“王様と私”に出演

今年はホワイエ、ピアノ庫、楽屋、舞台で出されたクイズを解きながら舞台の照明・音響・大道具・小道具等の設備を実際に見て、触れて、宝山ホールを楽しく探検しました。

●第1ステージは、ホワイエ内を探検して問題にチャレンジです。宝山ホール館長と職員に問題のヒントを聞きました。

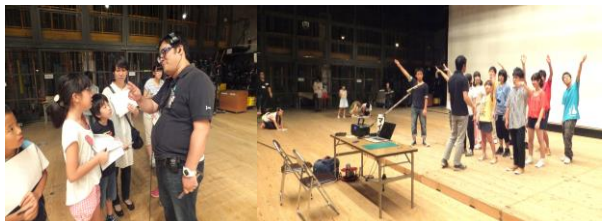


●第2ステージはピアノ庫・楽屋全部屋（6部屋）にクイズが準備されていました。出演者のように鏡やロッカーなどに触れながら問題にチャレンジしましたが、問題が難しく全楽屋を行ったり来たりしました。



●第3ステージは舞台全体からクイズがでました。

平成27年1月に上演される、ガラ・フェスティバル ミュージカル「ヤジロウと海乱鬼」の出演者が舞台稽古をしている中で、舞台設備担当者にヒントを聞き問題にチャレンジしました。



●最終ゴールは“奈落”から“セリ”にのって舞台上がりしました。



○体験者に感想をお聞きしました

・山元理津子さん（小学5年） 鹿児島市
「普段は入れないところに入れたことと、家族で協力してクイズを解いて、次のステージのクイズにチャレンジしていくのは楽しかったです。夏休みの自由研究の参考になりました」



山元直美さん 鉄也くん（小学3年） 理津子さん
平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
夏休みワークショップ

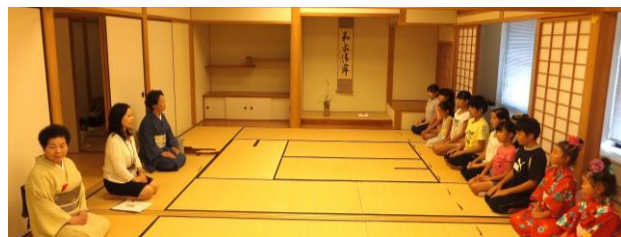
チャレンジしよう 「日本の伝統文化」
～お茶・生け花・日本舞踊入門講座～

8月27日（水）宝山ホール・かごしま県民交流センター
小・中学生の皆さんが、日頃学ぶ機会の少ない日本の伝統文化である、お茶・生け花・日本舞踊にチャレンジしました。

●日本舞踊（吾妻流） 講師は烏野ユリ子先生



●お茶（裏千家） 講師は溝口陽子先生



●生け花（小原流） 講師は鈴木査智子先生 鈴木茜先生



○受講者に感想をお聞きしました

・湯場崎彩（さやか）さん（小学4年） 鹿児島市
「初めての日本舞踊は“おすべり”で歩くのが難しかったです。おばあちゃんが見立ててくれた浴衣で“さくらさくら”が踊れるようになり嬉しかったです。生け花も初めての体験で、剣山にお花をさしたら抜けなくなって大変でした。日舞と生け花を体験して素敵な“大和撫子”になりました」



吾妻薩來（さら）さん（吾妻流師範）と 湯場崎彩さん（右）

宝山ホール広報ボランティア 『語いもんそ』編集部
〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行